令和7年第3回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和7年3月25日(火) 午後1時30分開会 第2庁舎8階 801会議室

日程	議	題
第1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第6号	
第3	議案第7号	小金井市立小・中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤 師の委嘱について
第4	議案第8号	小金井市学校運営協議会委員の委嘱について
第 5	議案第9号	小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱につ いて
第6	報告事項	1 令和7年第1回小金井市議会定例会について
		2 令和6年度小金井市教育委員会児童・生徒表彰につい て
		3 令和6年度働き方改革のまとめ及び令和7年度働き方 改革の計画について
		4 その他
		5 今後の日程
		6 令和7年度小金井市立校長・副校長の人事異動につい て
第7	議案第10号	職員の分限処分について
第8	議案第11号	職員の人事異動について

小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程

小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を別紙のように改正する。

令和7年3月25日提出

小金井市教育委員会 教育長 大熊 雅士

(提案理由)

小金井市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例を一部改正することに伴い、規定を整備する必要があるため、本案を提出するものであります。

小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程

小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程(平成14年教育委員会規程第 1号)の一部を次のように改正する。

第5条第1項第14号中「子どもの看護休暇」を「子どもの看護等休暇」に改め、 同項中第34号を第35号とし、第26号から第33号までを1号ずつ繰り下げ、第 25号の次に次の1号を加える。

(26) 子育て部分休暇 子部

付 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

小金井市教育委員会職員タイムレコーダー使用規程の一部を改正する規程新旧対照表

改正規程	現行規程	備考
(カードの表示)	(カードの表示)	
第5条 職員は、次の各号に掲げる区分に従い、カードにそ	第5条 職員は、次の各号に掲げる区分に従い、カードにそ	
れぞれ相当の表示をしなければならない。	れぞれ相当の表示をしなければならない。	
(1)	(1)	
→ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	~ }省略	
(13)	(13) \(\)	
14) 子どもの看護等休暇 看護	(14) <u>子どもの看護休暇</u> 看護	
(15)	(15)	
	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	
(25) J	(25) J	
<u>郷</u> 子育て部分休暇 子部		
(27) 省略	(26) 省略	
(28) 省略	(27) 省略	
(29) 省略	(28) 省略	
(30) 省略	(29) 省略	
(31) 省略	(30) 省略	
(32) 省略	(31) 省略	
(33) 省略	(32) 省略	
(34) 省略	(33) 省略	
(<u>35)</u> 省略	<u>⑷</u> 省略	
2 省略	2 省略	
/ I. Bu		
付 則		
この規程は、令和7年4月1日から施行する。		

小金井市立小・中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

学校保健安全法(昭和33年法律第56号)第23条の規定に基づき、小金井市立 小・中学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を裏面「学校医、学校歯科医及び学 校薬剤師一覧表」のとおり委嘱する。

令和7年3月25日提出

小金井市教育委員会 教育長 大 熊 雅 士

(提案理由)

令和7年3月31日付けをもって学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の任期が満了することに伴い、新たに委嘱するため本案を提出するものであります。

学校医、学校歯科医及び学校薬剤師一覧表

任期 令和7年 4月 1日から 令和9年 3月31日まで

(小学校)

(小学校)			
	職名	氏 名	
	内 科 医	宮 本 諭	
	眼 科 医	大森美依奈	
-	工量咽喉科医 工鼻咽喉科医	奥 田 和 子	
ŀ	整形外科医	三島市郎	
小			
\vdash	<u>薬剤師</u>	髙山 実 香	
	内 科 医	小 松 淳 二	
-	眼 科 医	大森美依奈	
-	耳鼻咽喉科医	三枝歌子	
小	整形外科医	神保眞理子	
	歯 科 医	小 磯 和 成	
	薬剤師	柴﨑 恵美子	
	内 科 医	小 林 久 滋	
	眼 科 医	待 山 伸 子	
三	工鼻咽喉科医	諸星咲子	
١. ١	整形外科医	浅沼 美智子	
小		菊 田 隆 夫	
$\vdash\vdash$			
	内 科 医	三島協工	
四	眼 科 医	安田佳守臣	
	耳鼻咽喉科医	奥田 和子	
小	整形外科医	三島市郎	
	歯 科 医	坂 元 雅 明	
	薬剤師	辻 依 子	
	内 科 医	齋 藤 寛 和	
_	眼 科 医	三 田 覚	
東	耳鼻咽喉科医	西野 裕仁	
1,,	整形外科医	田中功一	
小	歯 科 医	岩田 卓也	
		森田 亜矢子	
	<u> </u>	穂 坂 英 明	
	眼科医	尾本周	
前	耳鼻咽喉科医	奥田和子	
原	整形外科医		
小			
	歯科医		
	<u>薬 剤 師</u>	富子 浩子	
	内 科 医	三澤多真子	
本	眼 科 医	安田佳守臣	
町	耳鼻咽喉科医	奥田 和子	
小	整形外科医	神保眞理子	
ا آ ا	歯 科 医	田中康雅	
	薬剤師	辻 依 子	
	内 科 医	待 山 昭	
ψ⊒	眼 科 医	待 山 伸 子	
緑	耳鼻咽喉科医	西野裕仁	
ا ا	整形外科医	浅沼 美智子	
小	<u> </u>	三浦健二	
	薬剤師	森田亜矢子	
\vdash	<u> </u>	岡本智子	
		尾本周	
南		諸星咲子	
1	整形外科医	田中功一	
小	<u> </u>	谷中 みゆき	
Ш	薬剤師	宇山 和江	

(中学校)

7.1	字仪	,					
	職		名		氏		
	内	科	医	久	我	治	十
	眼	科	医	安	田	佳 守	田
_	耳	鼻咽喉	科医	Ш	枝	歌	子
中	整	形外系	医	神	保	眞 理	子
Т	歯	科	医	梶	原	仁	臣
	薬	剤	師	柴	﨑	恵美	子
	内	科	医	富	永	智	_
_	眼	科	医	Ξ	E	H	覚
_	耳	鼻咽喉	科医	西	野	裕	仁
中	整	形外系		田	中	功	_
т-	歯	科	医	吉	越	留	美
	薬	剤	師	﨑	Ш	康	子
	内	科	医	内	山	雅	子之
=	眼	科	医	Ξ	E	H	覚
東	耳	鼻咽喉	科医	Ξ	枝	歌	子
中	整	形外科	医	田	中	功	_
Т	歯	科	医	岩	Д	竒	宏
	薬	剤	師	髙	山	実	香
	内	科	医	菊	地	隆	文
≠ ⊒	眼	科	医	待	山	伸	子
緑	耳	鼻咽喉	科医	西	野	裕	子仁
中	整	形外科	医	浅	沼	美 智	子
-	歯	科	医	木	所	義	博
	薬	剤	師	柴	﨑	恵美	子
	内	科	医	竹	E	Ξ.	遼
<u></u>	眼	科	医	大	森	美 依	奈
南	耳	鼻咽喉	科医	Ξ	枝	歌	子
中	整	形外科	斗 医	Ξ	島	市	郎
	歯	科	医	生	駒	光	子
	薬	剤	師	回	子	浩	子

(小・中学校)

職名	氏 名
精 神 科 医	松浦 理英子

小金井市学校運営協議会委員の委嘱について

小金井市学校運営協議会に関する規則第8条の規定に基づき、小金井市学校運営協議会委員を別紙のとおり委嘱する。

令和7年3月25日提出

小金井市教育委員会 教育長 大 熊 雅 士

(提案理由)

小金井第一小学校、小金井第二小学校、前原小学校、本町小学校、小金井第二中学校、東中学校、緑中学校、南中学校の学校運営協議会委員の任期満了に伴い、学校運営協議会委員の委嘱手続きを行う必要が生じたこと、また、小金井第一中学校より新たに2名の推薦があったため、本案を提出するものであります。

小金井第一小学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
大橋 忠男	本校地域コーディネーター
深石 亜里紗	PTA代表
うちだ み ほ 内田 美帆	PTA代表
ずらの ともみ 浦野 知美	元主任児童委員
くろほり せいいち 黒堀 誠一	地域スポーツチーム代表
たむら ゆういち 田村 裕一	地域スポーツチーム代表
とみざわ ともよ 富沢 智代	本校地域コーディネーター
あいだ かずえ 会田 一絵	地域スポーツチーム代表
阿部 夏子	地域スポーツチーム代表
しもぐち ちぁき 下口 千秋	公募委員
大堀 由紀江	公募委員

小金井第二小学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
にしざわ あきら 西澤 彰	民生児童委員
きゅう あいこ 浅野 あい子	学識経験者
はしだ かずひこ 橋田 数彦	企業経営者
Louis D3L 篠原 熙	小金井市子供育成連合会元副会長
かどわき としたね 門脇 利種	小金井第一中学校長
太田 千紗	PTA代表
細川 猛彦	公募委員
のぐち ゆうこ 野口 優 子	公募委員

前原小学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
がじの まさし 梶野 政志	市民団体代表
森田 加代子	地域コーディネーター
^{むらさわ} 村澤 トキイ	民生児童委員
いとう まなみ 伊藤 真未	地域未来塾コーディネーター
あんとう あや 安東 礼	子供会代表
かめだ としお 亀田 俊夫	専門学校学院長
野崎 琢磨	学童父母会 O B 会代表
なかにし まさひろ 中西 晶大	公募委員
ettens eloc 貞平 俊彦	公募委員

本町小学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
おかだしはるこ 岡田 治子	健全育成
*************************************	学識経験者
かかばた み ゎ こ 川畑 美和子	健全育成
chizit つぐと 是枝 嗣人	商店会長
さいとう てっこ 齋藤 徹子	健全育成
しみず くにひこ 清水 邦彦	PTA代表
サザき しんいち 鈴木 慎一	児童館職員
西田 美津子	健全育成
田中 若葉	公募委員
*************************************	公募委員

小金井第二中学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
がじの まさし 梶野 政志	同窓会会長
カラのの ともみ 浦野 知美	民生児童委員
服部 啓次郎	地域スポーツクラブ代表
サザき ひろし 鈴木 寛	健全育成
大堀 由紀江	放課後学習教室代表
とみざわ とも よ 富沢 智代	放課後学習教室代表
加辺 博之	PTA代表
うちだ みほ 内田 美帆	地域住民代表
メニスポー ようこ邦永 洋子	NPO法人代表
かずき りる 鈴木 梨瑠	公募委員
みゃじ えりな 宮地 絵里奈	公募委員

東中学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
古源 美紀	主任児童委員
志波 直男	元保護司
*************************************	民生児童委員
久宗 百合子	NPO団体代表
サザき のぶお 鈴木 信夫	学識経験者
いとう あっひこ 伊藤 充彦	前自治会長
高山 実香	学校薬剤師
*************************************	PTA代表
宮崎 久男	公募委員
thěip tight 丹澤 純	公募委員

緑中学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等
たかはし ひでき 髙橋 秀樹	健全育成
こやま しげる 小山 茂	保護司
やぎ なおこ 八木 尚子	本校地域コーディネーター
まえだ くんぺい 前田 薫平	父母と教師の会代表
こばやし ひろし 小林 浩	学校支援地域本部コーディネーター
いとう みちこ 伊藤 智代子	公民会緑分館館長
ごとう みきよし 後藤 幹芳	公募委員
やなぎさわ ゆきこ 柳澤 友季子	公募委員

南中学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな氏 名	所属・役職等
おがた すみこ 緒方 澄子	民生委員
こみね ゆうこ 小峰 優子	主任児童委員
***の さとひこ 天野 達彦	東自治会元会長
まおやち かっま 大矢知 克磨	地域住民代表
まつしま ゆか 松嶋 有香	地域未来塾コーディネーター
^{ぉゕだ} 岡田 まどか	保育園長
なかさわ ともこ 深澤 智子	PTA代表
はしもと ひろとし 橋本 治祚	公募委員
安村 知宏	公募委員

小金井第一中学校学校運営協議会委員名簿

ふりがな 氏 名	所属・役職等	
たなか わかば 田中 若葉	大学院生	
マッカー みか 栗田 美佳	PTA代表	

小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について

小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会委員について、別紙のとおり委嘱する。

令和7年3月25日提出

小金井市教育委員会 教育長 大 熊 雅 士

(提案理由)

小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会について、委員が令和7年3月31日を もって任期満了となることから、新たに委員を委嘱するため、本案を提出するもので あります。

小金井市教育委員会いじめ問題対策委員会委員名簿

区分	E	氏名	所属等
学識経験を有する者	今城	徹	元玉川大学客員教授
弁護士	坂井	愛	齋藤総合法律事務所弁護士
心理に関する専門的な知識を 有する者	小林	正幸	東京学芸大学名誉教授
福祉に関する専門的な知識を 有する者	梅山	佐和	東京学芸大学講師
前各号に掲げる者のほか、教 育委員会が必要と認める者	浅香	真知子	東京学芸大学特任准教授・医師

報告事項1資料 令和7年3月25日

令和7年第1回小金井市議会定例会(教育委員会関係)

学校教育部

NO	質問議員	会派	表題及び質問の具体的内容等		
1	吹春 やすたか 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	小金井市の災害対策を充実させ発災に備えないか。 ① 中学生の防災に備える気持ちをもっと前向きに伸ばさないか。		
2	河野 麻美 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	前原小の校庭トイレについて ① 前原小のグランドにあるトイレの水流が悪くなり、利用が出来ない、またどこに声を上げたらいいのかわからないと言った声が上がっている。改善について問う。		
3	安田 けいこ 議員	生活者 ネット ワーク	子ども・若者の育ちについて考えよう ① 子ども・若者の豊かな体験と社会参加の充実のためのサポートを ② 小中高生と乳幼児のふれあい等、異年齢交流の促進について		

[※] 質問の通告があり、当日質問をされなかったものも含む。

生涯学習部

	ᄺᄀᆸᄞ				
NO	質問議員	会派	表題及び質問の具体的内容等		
1	遠藤 百合子 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	公民館・集会施設の和室上がり口への手すりの設置状況は ① 現在の設置状況について ② 今後の予定について		
2	河野 麻美 議員	自由民主 党・信頼 の小金井	前原小の校庭トイレについて ① 不具合等の連絡、対応について ② 全体への周知について		
3	安田 けいこ 議員	生活者 ネット ワーク	はけの自然と文化とは ① はけから生まれた文化や周辺の史跡等について		

[※] 質問の通告があり、当日質問をされなかったものも含む。

令和6年度 小金井市教育委員会児童·生徒表彰 表彰者一覧

該当者 · 団体15件

No.	学校名	学年	氏 名 · 団体名	表彰内容
1	小金井第一中学校	_	テニス部 女子	令和6年度第41回東京都中学校新 人テニス選手権大会(団体の部)第5 位
				2024関東中学生 新人テニス選 手権大会(学校対抗戦) 出場
2	小金井第一中学校	3年	中村 有希	第72回東京都中学校学年別水泳競技大会女子100m自由形第2位 第48回関東中学校水泳競技大会フリーリレー4×100m 第2位
3	小金井第一中学校	3年	橋本 大輔	全日本ジュニアテニス選手権大会 2024 14 歳以下男子シングルス準優勝 と日本ジュニアテニス選手権大会 2024 14歳以下男子ダブルス 優勝
4	小金井第一中学校	3年	吉田 雅哉	第39回日本クラブユースサッカー 選手権(U-15) 第3位
5	小金井第二中学校	3年	中村 優作	令和6年度中学生の「税についての作 文」コンクールにおいて全国上位13 2編(東京都上位10編)に選出、公 益財団法人全国法人会総連合会長賞 受賞
6	小金井第二中学校	3年	池尻 淳史	第10回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール中学生の部 会長賞受賞
7	小金井市立緑中学校	1年	伊勢崎 夢人	第70回全日本中学校通信陸上競技 東京都大会 男子1年100m 第 3位
8	小金井市立緑中学校	3年	横江豪	第70回全日本中学校通信陸上競技 東京都大会 男子共通走幅跳 第1 位 全国大会出場

9	小金井市立緑中学校	3年	増田 陽太	第52回関東中学校陸上競技大会
				男子共通400m 第1位 全国大
				会出場
10	小金井市立緑中学校	2年	小林 優	第30回全国ジュニア・ラグビーフッ
				トボール大会第3ブロック(女子の
				部) 第2位
11	小金井市立緑中学校	1年	髙橋 旺佑	第25回多摩地区中学校水泳競技大
			井勝 兎和	会 1 年男子 4 × 5 0 mフリーリレー
			戸板 太一	第1位
			神田 草詩	
12	小金井市立南中学校		2年 菱刈 大馳	要救助者を発見後、自分たちにできる
			2年 荻田 凰臥	ことを考え、AEDを探したり、大人
			2年 八子 太朗	に助けを求めたりして、保健体育の学
			2年 北原 士輝	習を生かすとともに、人を助けたいと
			2年 橘 壮哉	いう気持ちで行動に移したことが他
			1年 野口 凛太郎	の生徒の模範となった。
13	小金井市立南中学校	2年	女子ソフトボール部	令和6年度 第73回東京都中学校
				秋季新人ソフトボール大会 第3位
14	小金井市立南中学校	2年	鈴木 真成	第45回東京都中学校放送コンテス
				ト アナウンス部門 準優勝 第4
				1回NHK杯全国中学校放送コンテ
				ストアナウンス部門出場
15	小金井市立南中学校	2年	勅使川原 怜	2024 青少年航空宇宙絵画国際コンテ
				スト国内予選 優秀賞 FAI
				ヤングアーティストコンテスト 10~
				13 歳クラス 世界 1 位

令和6年度 働き方改革キャンペーン月間のまとめ

1 目的

1か月あたりの時間外在校時間が80時間を超える教員をゼロにする。

学校教育の質の向上を図るには、教員が子どもたちと向き合う時間を確保し、誇りとやりがいをもつことができる環境を確保する必要がある。教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境を整備することにより、学校教育の質の維持向上を図る。

2 期間

令和6年11月1日(金)~30日(土)の1ヶ月間

3 内容

- (1) 教員の勤務時間を出退勤管理システムにより客観的に把握し、教員が別添の時間外在校時間計算表等を活用し、原則である時間外在校時間1ヶ月45時間以内を意識した仕事を行う契機とした。
- (2) 長時間労働という働き方を改善することで、ライフ・ワーク・バランスの実現を果たしていくことの大切さを、管理職から教員に対し機会を捉え伝えた。

4 方法

1ヶ月間教員が出退勤システムで自身の勤務時間管理をした。出張及び土 日休日の学校への出勤についても、在校時間に含めた。

5 対象

市立小・中学校の全教員(非常勤教員等を除く・臨時的任用教員を含む)

6 対象数

小学校計 305人 中学校計 134人 合計 439人 ※ 産休育休中、病休中等の教員は除く

7 結果

|1 か月あたりの時間外在校時間が80時間を超える教員は2.7%|

※昨年度の働き方改革キャンペーン時の調査では2.8%

8 4年間の時間外在校時間比較(11月分)

(1) 教員全体

全体	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1か月あたりの平均	44 時間 42 分	44 時間 24 分	38 時間 18 分	37 時間 47 分
80時間を超える教員数	32 人	28 人	12 人	12 人
80時間を超える教員の割合	7.7%	6.8%	2.8%	2.7%

(2) 小学校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1か月あたりの平均	41 時間 36 分	43 時間 13 分	37 時間 26 分	36 時間 31 分
80時間を超える教員数	12 人	13 人	2 人	3 人
80時間を超える教員の割合	4.2%	4.6%	0.7%	1.0%

(3) 中学校

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1か月あたりの平均	51 時間 28 分	46 時間 52 分	40 時間 09 分	40 時間 40 分
80時間を超える教員数	20 人	15 人	10 人	9 人
80時間を超える教員の割合	15.4%	11.3%	7.3%	6.7%

(4) 副校長

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1か月あたりの平均	67 時間 35 分	57 時間 50 分	50 時間 54 分	52 時間 06 分
80時間を超える教員数	4 人	1 人	1 人	0 人
80時間を超える教員の割合	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%

9 まとめ

本市の働き方改革の評価指標である「時間外在校時間80時間を超える教員の割合」が昨年度2.8%から0.1ポイント減って2.7%であった。また、教員全体の平均時間外在校時間が31分減った。これは、各校の各種働き方改革の取組によるものであると考えるが、中でもICTを活用した取組及び中学校部活動外部指導者の増員は今年度の特徴的な部分であると言える。今後も引き続き、各学校において、校長のリーダーシップのもと教員業務分担の見直すとともに、ライフ・ワーク・バランスの実現を果たしていくことの大切さを校長から教員に機会を捉え伝えていくなど意識の醸成が重要である。

なお、月合計の時間外在校時間90時間以上の教員は1人(0.2%)、 80時間以上の教員は12人(2.7%)、45時間以上の教員は151人 (34.4%)であったなどが課題であり、個々の状況を踏まえ働き方改革 の取組の更なる充実を図っていく。

【参考資料】働き方改革キャンペーン月間 教員の1か月時間外勤務









令和7年度 学校における働き方改革 計画

1 目標

目標 1 か月あたりの時間外在校時間が80時間を超える教員をゼロにする 1 か月あたりの時間外在校時間が45時間以上の教員を30%以下にする

小金井市では文部科学省の指針に基づき、「小金井市立学校の管理運営に関する 規則」を改正し、時間外在校時間の上限を次の通り追加している。

【小金井市立学校の管理運営に関する規則(令和2年11月1日改正)】 第26条 時間外在校時間の上限

- (1) 1月について45時間
- (2) 1年について360時間
- 2 一時的又は突発的に所定の勤務時間外に業務を行わざるを得ない場合の上限
 - (1) 1月について100時間未満
 - (2) 1年について720時間
 - (3) 1月ごとに区分した各期間に当該各期間の直前の1月、2月、3月、4月 及び5月の期間を加えたそれぞれの期間において1月当たりの平均時間 について80時間
 - (4) 1年のうち1月において所定の勤務時間以外の時間において45時間を超えて業務を行う月数について6月

令和6年11月に市教育委員会が実施した小金井市立学校教員勤務実態調査では、月合計の時間外在校時間90時間以上の教員は1人(0.2%)、80時間以上の教員は12人(2.7%)、45時間以上の教員は151人(34.4%)であった。引き続き東京都教育委員会の目標に準じて当面は1か月あたりの時間外在校時間が80時間を超える教員をゼロにすることを目標とすることに加え、45時間以上の教員を30%以下にすることを当面の目標とする。

2 令和7年度の取組

(1)【方策1】在校時間の適切な把握と意識改革の推進

→ 11月に働き方改革キャンペーン月間を実施する

出退勤システムを導入し、年間を通して教員の出退勤を把握できるようなったが、意識付け、経年比較及び取組の検証のために、11月に働き方改革キャンペ

ーン月間を設定する。またワーク・ライフ・バランスの実現を果たしていくこと の大切さを、管理職から教員に対し機会を捉え伝えていく。

また、個々の教員のデータを集約し、時間外在校時間の上限を超える教員には、管理職による面談を実施していく。

(2)【方策2】定時退庁日や夏季休業期間中における連続した学校閉庁日の設定

→ 8月12日から4日間の学校閉校日を実施する

令和7年8月12日(火)~15日(金)の平日4日間を一斉閉校日とする。ただし、土日祝日を含め実質8/9~17の9日間連続の休日となる。

(3) 【方策3】中学校部活動外部指導者の派遣

→ 部活動指導員・外部指導員を有効活用する

従来の部活動指導員、部活動外部指導員等の有効活用に加え、中学校部活動の地域移行に向けた基盤づくりとして、部活動指導員を12人から15人に増員し、各校3人の配置を検討するなど部活動担当教員の更なる業務軽減を図る。また、部活動の地域連携・地域移行に係る検討委員会において教員の部活動の負担軽減の方策について引き続き協議する。

(4)【方策4】教員業務の見直しと業務改善の推進

→ スクール・サポート・スタッフ、小学校副担任を有効活用する

教育委員会からの調査、研修会等の精選を引き続き進める。学校での業務見直し、校務分掌の分担の平準化等は、各学校でさらなる推進を図っていく。また教員の雑務を手伝うスクール・サポート・スタッフの大規模校における拡充措置をしているため、有効に活用し、教員の業務軽減を図る。小学校においては、小学校副担任(エデュケーション・アシスタント)を各校2人配置し、教員の業務軽減を図る。

(5)【方策5】副校長の業務負担の軽減

→ 学校共同事務室・支援員による副校長業務の負担軽減を進める

→ 副校長補佐を有効活用する

副校長の業務負担軽減のために、学校共同事務・支援員が業務分担表をもと に副校長の業務軽減を図る。また、14校に配置している副校長補佐を有効に 活用し副校長の業務軽減を図り、配置校への継続配置を東京都に要望する。

教育委員会の今後の日程

令和7年3月25日

	1	<u> </u>
会 議 名	日時	場所
第3回総合教育会議	3月25日(火) 午後3時	801会議室
退職校長・副校長の市長への挨拶	3月31日(月) 午後2時15分	庁議室
新補・転補校長辞令伝達式 及び市長への挨拶	4月1日(火) 午後3時15分	庁議室
小学校入学式	4月7日(月) 午前10時30分	各小学校
中学校入学式	4月8日(火) 午前10時	各中学校
令和7年 第4回教育委員会定例会	4月15日 (火) 午後1時30分	801会議室
東京都市町村教育委員会連合会 第1回常任理事会・理事会	4月28日 (月) 午後1時・2時	東京自治会館
令和7年 第5回教育委員会定例会	5月13日 (火) 午後1時30分	801会議室
市教育委員会訪問	5月20日(火) 午前10時15分	小金井第四小学校
令和7年 第6回教育委員会定例会	5月27日 (火) 午後1時30分	801会議室
関東甲信越静市町村教育委員会 連合会総会及び研修会 (長野大会)	5月30日(金) 午後1時	ホクト文化ホール (長野県民文化会館)